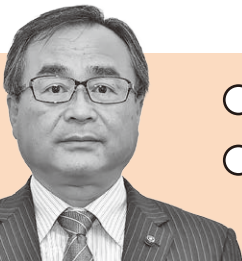


## 一般質問Q&A

日本共産党

山田安信  
議員



### ○ 恐竜の森のパークPFIについて ○ 中学校の統廃合について 他

**問** ①パークPFIは、来園者を恐竜の森に囲い込み、市街地誘客と矛盾する危険がある。ホテルは集客力を利用するだけだが、新たに集客を増やす事業はあるのか。  
②議会が、契約書を専門家の意見も聴取してチェックでき、仮契約を否決しても賠償責任を負わない制度にすべきだ。

**答** ①大型連休や夏休み等の繁忙期と冬期間等の閑散期では来園者数に大きな差があり、民間事業者には年間を通じて賑わいを創出するよう、宿泊機能や飲食物販機能、遊戯機能の整備を求めている。県立恐竜博物館の来館者だけでなく、新たな遊戯機能を目的とした来園者の宿泊への誘導や、宿泊が目的となるような施設整備、有料イベントや市内施設との連携等の提案を求めることで、新たな需要の創出に繋がると期待している。

②今後、選定された事業者との協議や学識経験者の指導を踏まえ、損害賠償等も含め、市が不利益を被ることのない内容の契約を締結するが、仮の段階で議会にお示しするので、確認、審議をお願いしたい。

**問** ①県教委は、少子化の進行により県立高校を1学年4学級にこだわらず、地域のためにできる限り存続させることが望ましいと方針転換した。高校でさえ適正規模にこだわらないのに、なぜ勝山市は中学校で固執するのか。  
②県高教組の役員は「勝山高校での中学校併設・連携は聞いていない」としている。県はどこでこの機関で検討したのか。

**答** ①県の高問協での方針変更は、積極的に学級数の少ない高校を目指すものではなく、その高校が当該自治体にとって大切な存在であることに鑑み、1学年3学級になっても、地元自治体と連携協力して存続することが望ましいとしたもの。

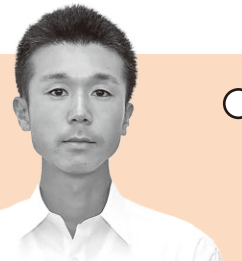
勝山市の中学校再編は、市内中学生にとってより良い教育環境を目指すこととするもので、県立高校の事情とは異なると考える。

②勝山市中学校再編検討委員会の答申に基づき、市から県に積極的な検討を要望し、それから市教委と県教委との話し合いに入った。県教委としては、全く新たな事業開始を決定するのではなく、特別な機関での協議は行っていないと聞いている。

## 一般質問Q&A

市民の会

中山光平  
議員



### ○ 新型コロナウイルスワクチンの意義と 新型コロナウイルス対応の見直し提案

**問** ①ワクチン接種で感染予防ができていない。また、「ワクチン接種していない世代でも軽症化が進んでいる」というデータを示し説明したが、市からは提示されない。厚生労働省のデータは信憑性がないということか。

②ウイルスとワクチンの年齢別のリスクデータや、ワクチン非接種であっても99%以上の人が感染しない、というワクチン有効率の説明や、発症者の追跡データや新型コロナウイルスワクチンの臨床試験は継続中という事実等、データを積極的に市民に提示すべきだ。

③市民にデータを提示しないことで、ワクチン接種者と非接種者で軋轢にもなっているが、市はワクチン接種に関して強制や圧力をかけていないか。

④コロナ禍におけるイベント等の基準が曖昧で、市民の活動意欲を削いでいる。納得できる基準を示すべきだ。

**答** ①国や県等の公的機関による信憑性のある情報をできるだけ分かりやすく市民に伝えることは重要で、市のホームページから厚生労働省の「データからわかる新型コロナウイルス感染症情報」にリンクしている。

②市民にワクチン接種を推奨するため、国や県からのワクチンに関する情報を基に市広報等で情報発信に努めているが、市民には国からの医学的知見に沿った情報や福井県内の感染状況を踏まえた知見等も参考にして接種の判断をお願いしたい。

③ワクチン接種は強制ではなく、あくまで本人の意思に基づいて接種を受けるもので、接種を強制したり、接種していない人や受けることができない人に対して差別的な扱いをしないよう周知している。

④市の公共施設利用や市主催行事等実施の可否は、福井県新型コロナウイルス感染症対策本部会議で決定された対応を基本とし、近隣市町の対応も参考にして勝山市新型コロナウイルス感染症対策本部で決定している。